

# わがまちみらいマネジメント講座

## ファシリテーター養成① 実施報告書

- 1 日 時 平成30年10月21日（日）10時～17時
- 2 会 場 消防局5階講堂（長崎市興善町3-1）
- 3 講 師 山口 覚 氏  
（津屋崎ブランチLLP 代表）
- 4 開催目的 地域活動のリーダー等を対象として、地域活動における運営能力の向上や地域活性化に効果的な手法の習得を目指す
- 5 テー マ ファシリテーター養成（3回連続シリーズ）  
話し合いの場での参加者の意見の引き出し方などを学びます
- 6 参加者 18名
- 7 実施内容

### ○開会

ファシリテーター養成①

「対話の重要性を座学で学ぶ」



### ○講師紹介

地域コミュニティ推進室より  
講師の山口 覚さんを紹介

山口 覚さん →



## ○自己紹介（チェックイン）

3～4人程度に分かれて、自己紹介や受講動機などを話しました。

### ➤チェックイン

会議の前に少人数で話す時間を取ることで、参加者の緊張感を和らげます



## ○対話とは

・今、なぜ対話は必要か？  
・「討論」と「対話」の違い について  
山口さんのお話を聞き、参加者同士でどう感じたかを話し合いました。

### ➤対話とは、

- ・「自分も正しいかもしれないが相手も正しいかもしれない」と思う
- ・「なぜ考えが違うのか」を探求する
- ・自分の想像の枠外のアイデアを見つける



## ○対話の事例紹介

### ➤津屋崎大交流会

地元の人と移住者のつながりをつくる

### ➤医療福祉連携

医者と福祉に携わる方々とは本音で語り合う場

### ➤町医者の学校

医者と地域の住民と一緒に対話を学ぶ

### ➤トークフォークダンス

子どもと大人が本音で語り合う場

対話の事例についての話を聞いた後、グループで話し合ってみると、「こんなこともできるのか」「自分のまちでもやってみたい」などいろんな気づきや意見が出てきました。



## ○対話の実践

話し合い（対話）の心得を学んだ後、ワールド・カフェという話し合いの手法を使い、実際に「まちづくりとは何か」というテーマで話し合いを行いました。

➤話し合い（対話）の心得

- ・ 耳を澄ませて聴く
- ・ 否定も断定しない
- ・ アイデアをつなげる
- ・ 「あっ！」という瞬間を大切に
- ・ 考えが変わる自分を許す

➤ワールド・カフェ

席替えをしながら少人数での話し合いを繰り返し行う。アイデアが広がり、意見を深める話し合いの手法の一つ。



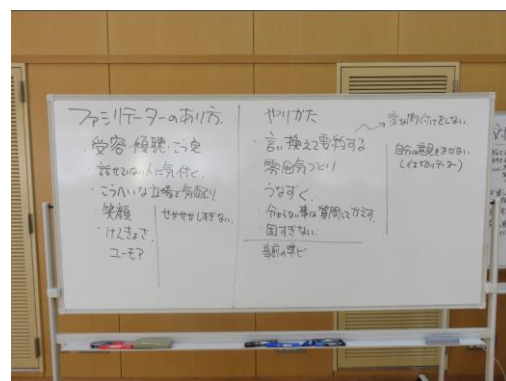
## ○ファシリテーターとは

「ファシリテーターとして大切なこと」とは何か、グループで話し合いました。実際に対話を実践してみて感じたことや山口さんの進行の様子をみて感じたことなどを考えながら意見を出し合いました。

➤出てきた意見

- ・ 受容、肯定
- ・ 頷き
- ・ 公平な立場での気配り
- ・ 話せていない人に気づく
- ・ 笑顔
- ・ 謙虚さ
- ・ ユーモア
- ・ せかせかしすぎない
- ・ 雰囲気づくり
- ・ 意見を要約する力

など



## ○振り返り

「今日一日を振り返ってどうだったか」  
を3～4人程度に分かれて話しました。

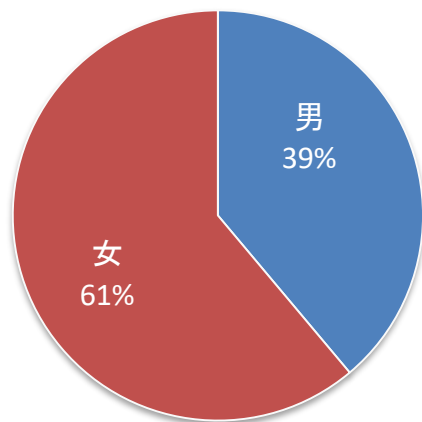
「地域の会議で早速使ってみたい」「地域  
を良くしたいという思いを持つ皆さんと  
話せたことがよかった」などの声がありま  
した。



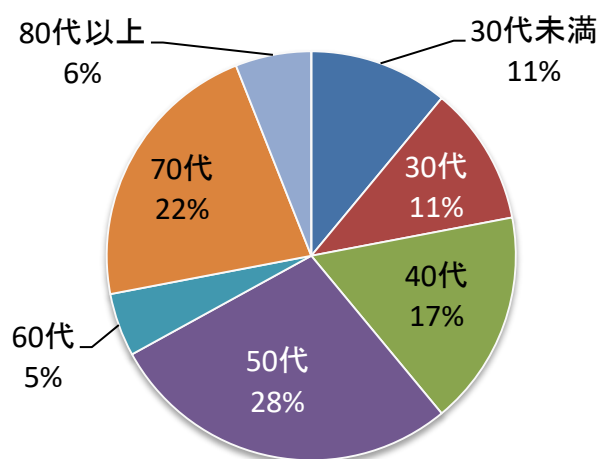
## 8 アンケート結果

別紙「アンケート結果」参照

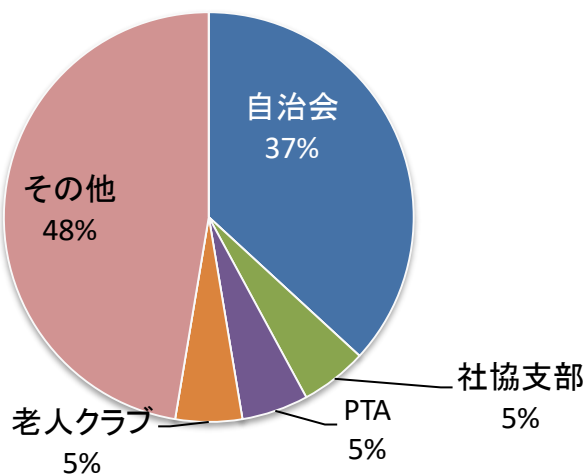
### 参加者 男女比率



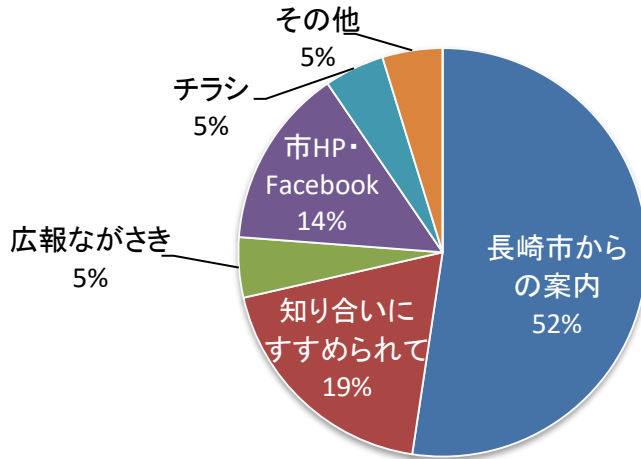
### 参加者 年代比率



### 参加者 団体比率

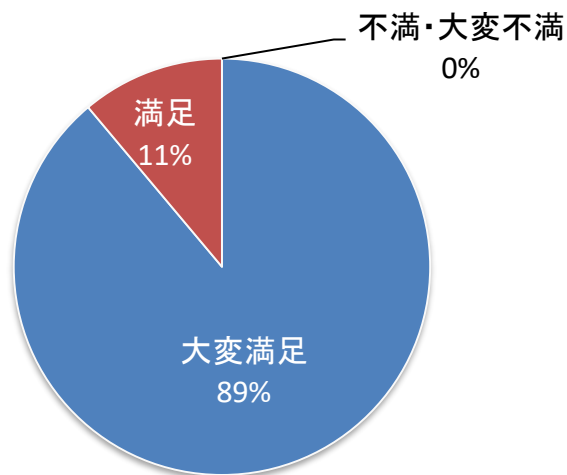


1 本日はどのようなきっかけでご来場されましたか？（複数可）

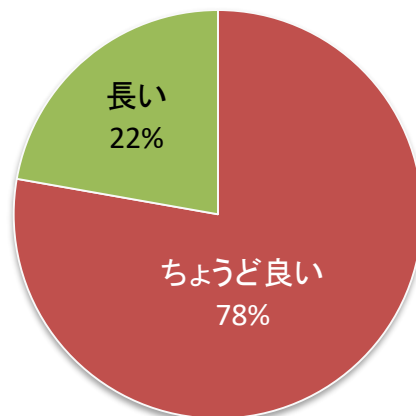


2 本日の講座の評価について、当てはまるものを選んでください。

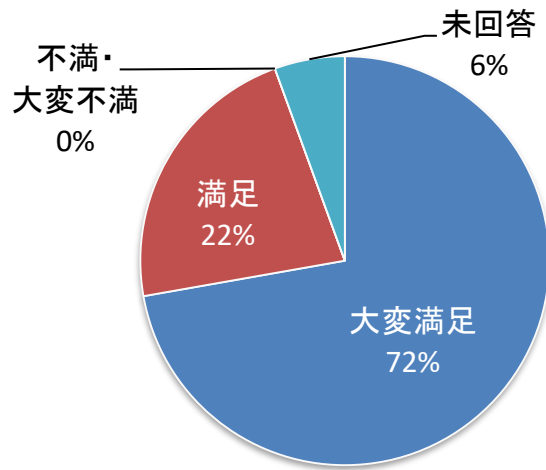
(1) 講座内容について



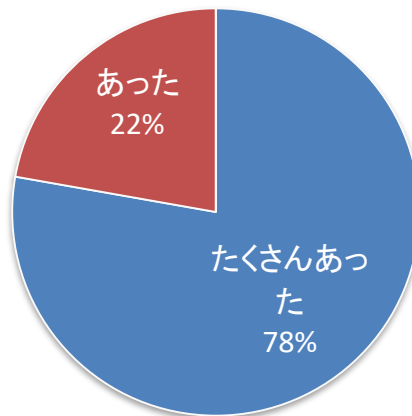
(2) 時間配分について



(3) 全体的に



3 新たな発見や活動の参考になることはありましたか？



### 3 新たな発見や活動の参考になったこと（自由記述）

内容
自分のグループで話し合ったことを他のグループへ報告し、他グループからの意見を持って自分のグループで再度話した時、みんなが学び、拾ってきたものを共有できた気分になった。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の団体の会議形式が、新人や若い人にとっては無言の圧力になっている。という話がドッキリしました。</li> <li>・グループワークでルールを守りながら対話することでお互いとても楽しい場になるんだなあと再確認</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループが途中でメンバーチェンジすること→触発をもたらす</li> <li>・ファシリテーターのあり方</li> <li>・対話と討論の違いはなる程と思いました。</li> </ul>
会議の形式、進め方等、今までの経験には足りない事ばかりでした。又、機会があったら受講したいと思います
・会議の進め方等の参考になりました。具体的な事は十分勉強して今後の会の進め方に生かしてゆきたいと思っています。
会議の持ち方、会議の進め方、他用件のコミュニケーションの取り方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークをくり返すことで新しいアイデアがうかぶこと</li> <li>・ファシリテーターの技術について発言をうながす技術</li> <li>・参加者の技術について</li> </ul>
会議の進行上のテクニック、心がまえ等を知ることができた
ファシリテーターのあり方って、人として様々な人に出会う中でそもそも持っておいた方が良いものだなあと思いました。
同じテーブルでいろんな活動をされている人の話は参考になった。
地域との交流スペースをあらたにつくりたいと思っていたので、今日のことが役に立つと思います。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な会議、話し合いの事例</li> <li>・ファシリテーターの技術</li> </ul>
新たな会議話し合いのありかたとやりかたが見えて来たと共にとてもありがたいためになりました。ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーターについて少し理解</li> <li>・若い人と話ができて、自治会へ若い人の参加をうながすヒントが少し参考になった。</li> </ul>
自分の会ぎの進め方が良くない点が具体的にみえた事(無意識のうちに(時には意識して)自分の考えにみんなを誘導していた)
自分なりの方向性がつよかったとは思わなかったがやはり気づきは多く、人生の終活としては自分に素直になれることの大切さを反省としてつよく感じた1日でした。若い人達を同行出来なかったこと反省をしています
自分の意見はそんなに正しくなく、もっと外の枠組みや別の見方があることに気づかされ、対話の良さを知ることができた。
知っておくべき基本的な内容を押さえたうえで、具体的な事例のお話も聞けてかつ、実践演習としての時間もあって最後は振り返りという今回だけでも本当に充分今後やっていけるかと思える充実した内容だったと思います。ありがとうございました。次回の参加も楽しみにしております。



#### 4 その他、ご意見・ご要望、感想など（自由記述）

内容
どうもありがとうございました。
・とても意見を出しやすく、他の方の意見を素直にきけるよう場づくりに考慮されていてすばらしいと思いました。更にファシリテーション技術を学びたいと感じました。
大変勉強になりました。ありがとうございました。 津屋崎でのまちづくりについて不勉強のため改めて勉強して来ます。
単純に楽しい場だったと思います。時間をとれば、楽しい会議を作れるような気がしました。だが、1時間ときまった時間内にどれくらいできるのかなという疑問が残りました。次回以降知れたら良いと思いました。
みなさん言われていましたが、ファシリテーターとしての前に1人の人間として自分をみつめなおす機会になりました。ありがとうございました。
マンネリ化した会議の進め方、限られた人のみが発言する会議、発言がない会議、、いろんなことに応用が出来るそうです
ありがとうございました。感謝です。なかなかこういう機会がないと気づきがないと思いました
次の世代へ引きついでいけること目標としたいです
お茶がなんとなくとりいきづらい。